

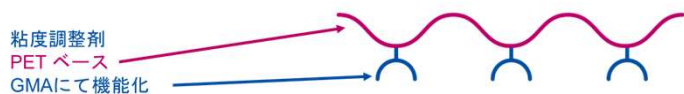
PET SCONA TPPET 4214 PA

PET の分子量・粘度調整しサイクル材の活用をサポート

新製品紹介

BYKの添加剤ソリューション

✓ GMAをグラフト化PET樹脂



✓ 一般性状

- グラフト率 : $\geq 2\%$
- 乾燥減量 : $< 5\%$
- 色 : オフホワイト
- 性状 : 粉体
- MVR : 本添加剤は、溶融時に機能化されていないベースポリマーで希釈されていなければ、架橋します。よって、本製品のMVR (or IV) は信頼性のある測定ができません。また、ペレット化した製品はございません。

**注意点：食品接触用途には不可
化審法新規化学物質未登録**

主なご提案用途と推奨添加量

推奨添加量

- 粘度調整剤：最初/希望とする粘度により、全体配合に対して 1 - 10%
- 相溶化剤：ポリマーブレンド中のPETの量によって、全体配合に対して 5 - 30%
- カップリング剤：フィラーの種類/添加量によって、全体配合に対して 2 - 6%

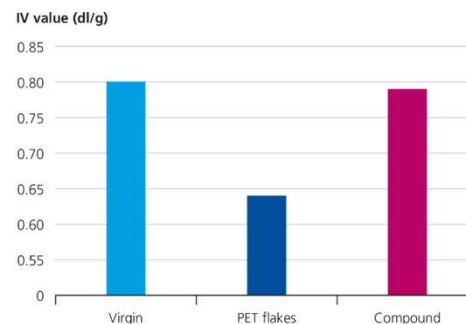
お問い合わせ

下記ホームページリンクよりお気軽にお問い合わせください。

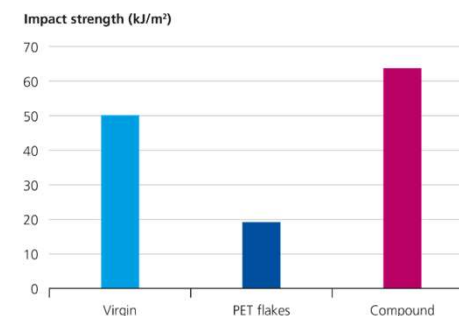
<https://www.byk.com/ja/contact>

ビックケミー・ジャパン株式会社 プラスチック添加剤部

IV値の向上

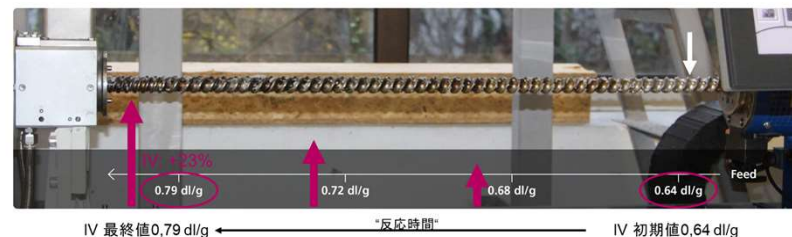


インパクト強度の向上



混練押出機中でのIV値の上昇

PET フレーク： 120°C x 4-6h 乾燥
IV (初期値): 0.64 dl/g
スクリュウ構成: 送りのエレメントのみ (低せん断力の設定)
添加量: 10% SCONA TPPET 4214 PA



混練押出: KUZ, Leipzig
2軸混練押出機(ZE) ZE25Ax47D-UTXi-UG, (Ø: 25 mm, L/D: 47 mm) KraussMaffei Extrusion GmbH
ライプツヒのKunststoff-Zentrum (KUZ)が、プラスチック加工についての技術開発を行い1960年6月1日より実際に使用されてきている。KUZは、熱可塑性プラスチックおよびポリウレタンの加工において包括的なノウハウを持っている。設計・金型技術のみならず加工技術は、材料開発、プラスチック試験および溶着技術着とともに我々の作業領域です。 <https://www.kuz-leipzig.de/en/>

本情報は当社の現在の研究データや技術に基づいています。実際の効果は材料の配合や加工条件によって異なります。十分に試験をされた上でご使用ください。本情報に記載の製品の使用もしくは情報の使用に関して、特許権を余念なくケース対し一切の法的責任を負いかねます。当社もしくは第三者の知的財産権その他の権利に関わる問題が生じた場合は当社は其の責を負うものではありません。また、これらの権利の実施権の許諾を行うものではありません。記載内容は改良や開発のために変更することがあります。

BYK